

神戸出身 漫画に歌、文筆、野菜ソムリエ…

# 「べじこ」マルチに大活躍



神戸市出身の漫画家兼イラストレーター「べじこ」こと坂井洋子さんが、名古屋を拠点に大活躍を見せている。野菜ソムリエや温泉ソムリエとしても情報発信するほか、自ら歌う野菜ソングが東海エリアのスーパーで人気に。さらに先月末には初の著書「キャラ営業の極意」で文筆家デビューも果たした。マルチな才能を発揮するべじこってどんな人？（平松正子）

神戸市垂水区で生まれ育ち、兵庫県立大学を卒業後、リクルートグループに入社。営業ではトップセールスを記録し、転職情報サイトの立ち上げでも成功を収めた。10年半の勤務を経て、子どもの頃から好きだったイラストや漫画の道へ転身。大手企業や自治体の刊行物などに参画してきた。

2017年、友人らの協力を得て「べじこのうた」を制作。動画サイトで発表したところ、大手食品メーカーからコラボの依頼が。翌年には同じ仲間と作った「ラブベジのうた」がスーパーの野菜売り場で連日流れ、地元放送局からの出演依頼も相次いだという。

「絵は独学ですが、会社員時代から漫画に使えそうだな



「営業って自由でクリエイティブな仕事。今の活動にも生かされています」と話す坂井洋子さん＝神戸新聞社

## 名古屋拠点 「やりたいこと、口に出して」

描き下ろしイラスト「べじこ、神戸に里帰りの巻」



夕はメモしてました。歌も作りたいなあ…と想っていたら、自然に作詞や作曲のできる人が集まってくれて。やりたいと思っただけは思い切っただけ口に出してみるといいですよ」と坂井さん。

本を出すのも長年の夢だった。出版企画のオーディションに挑戦した昨夏、自問の末にひねり出したテーマが「キャラ営業の極意」。

漫画を交えて営業術を指南する「キャラ営業の極意」



スーパーで流れている「ラブベジのうた」のアニメーションより

「キャラ営業」だったとか。キャラ営業とは外見も内面も含め、自分の個性を存分に生かした営業術のこと。かつての同僚に言われた「キャラピキャラピのキャラ営業だね」という一言がヒントになった。

執筆に際しては自身の体験に加え、多分野の営業マンら約30人に取材した。外見編では、テーマカラーの選び方や小物の活用術、名刺交換時のコツなどを指南。内面編では、雑談で本音を引き出す「おしやりキャラ」、誰にでも率直に意見を言う「こびないキャラ」など、具体例を挙げて実践的に伝える。

自分自身のキャラを分析するワークシートのほか、巻末には「独立しても使えるキャラ営業」と題した章も。営業職に限らず、さまざまな人付き合いの場面で応用できるノウハウが満載だ。

坂井さんは「商品知識を伝えるだけならAI（人工知能）でもいい。この人なら信頼できる」と思われるよう、自分の個性をうまく表現することが大切です。読んでくれた人が、それぞれの暮らしの中で役立ててくれれば話している。

「キャラ営業の極意」は、ほの出版刊、1540円。